

製品名: DAPK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87173**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,FC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

抗原情報

遺伝子名	DAPK2
別名	DRP1; DRP-1
遺伝子ID	23604
SwissProt ID	Q9UIK4
免疫原	ヒト DAPK2 の合成ペプチド

背景

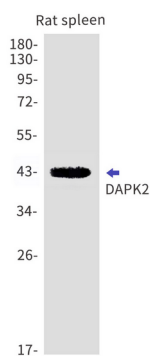
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、N

末端プロテインキナーゼドメインとそれに続く保存されたカルモジュリン結合ドメインを有し、プログラム細胞死の正の調節因子である細胞死関連プロテインキナーゼ 1 (DA PK1) と高い相同性を示しています。この遺伝子の過剰発現は細胞アポトーシスを誘導することが示されています。この遺伝子は複数のポリアデニル化部位を利用します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



DA PK2 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脾臓細胞溶解物中の DA PK2 のウエスタンブロット検出。